

 公益社団法人 福岡県医師会 FUKUOKA PREFECTURE MEDICAL ASSOCIATION

サイト内検索
サイトマップ お問い合わせ

トップ 県民の皆様 医師の皆様 アクセス リンク 会員専用

▼ 感染症発生動向調査 週間コメント

[《疾病別 推移グラフ》](#)

248670

第10週 (H31.3.4～H31.3.10)

■今週のトピックス

▽ 今週(2019年第10週:3/4-3/10)はインフルエンザが定点当り3.9と7週連続で減少し、キットはA+が大部分です。感染性胃腸炎は横ばいです、ノロウイルスよりロタウイルスが多くロタの多発が続きます。県内から風しんは毎週報告が続き、全国情報では麻しんも増加しています。春休みに向かってご注意ください。

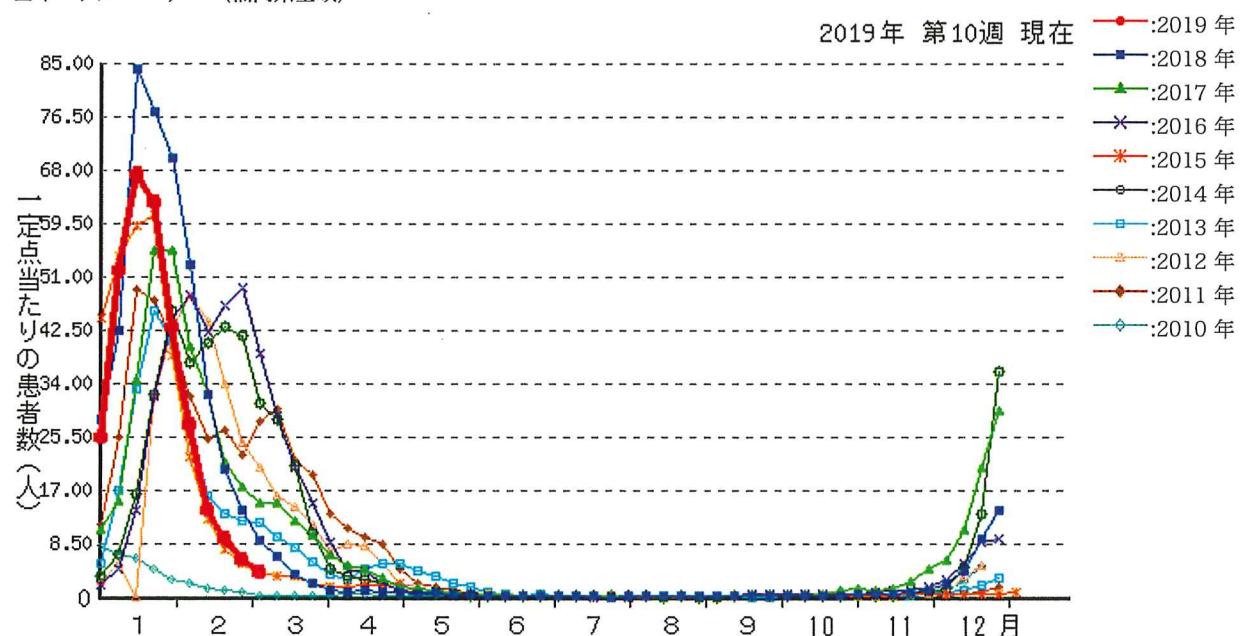
病名	報告数	前週比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	775	67%	福岡454、北九州168	3.91	5.93
RSウイルス感染症	138	120%	福岡74、北九州27	1.15	0.47
咽頭結膜熱	60	97%	福岡36、北九州14	0.50	0.33
A群溶連菌咽頭炎	585	111%	福岡408、北九州101	4.88	2.71
感染性胃腸炎	1095	108%	福岡536、北九州300	9.13	5.95
水痘	69	130%	福岡42、北九州14	0.58	0.28
手足口病	15	-15	福岡9、筑後3	0.13	0.13
伝染性紅斑	106	102%	福岡47、筑豊30	0.88	0.57
突発性発しん	60	81%	福岡29、北九州16	0.50	0.34
百日咳	14	±0	福岡9、筑後5	0.12	
風しん	0	±0		0.00	
ヘルパンギーナ	5	+1	筑後3、福岡2	0.04	0.03
麻しん	0	±0		0.00	
流行性耳下腺炎	32	107%	北九州18、福岡12	0.27	0.09
川崎病(MCLS)	6	+2	福岡8、筑後1	0.05	
マイコプラズマ肺炎	14	+6	福岡13、北九州1	0.12	0.20
クラミジア肺炎	0	±0		0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0	±0		0.00	0.03
無菌性髄膜炎	1	+1	筑豊1	0.01	0.03
急性脳炎	0	±0		0.00	
急性出血性結膜炎	1	+1	北九州1	0.04	0.01
流行性角結膜炎	15	-9	福岡8、筑後4	0.58	0.49
性器クラミジア感染症	17	-8	福岡7、北九州5	0.46	
性器ヘルペス	7	+2	北九州4、福岡2	0.19	
尖圭コンジローマ	2	±0	福岡2	0.05	
淋菌感染症	8	-3	福岡4、北九州2	0.22	
梅毒	0	-2		0.00	

全国情報は平成31年9週分です。全国情報ではマイコプラズマ肺炎96、クラミジア肺炎0例。

平成31年第9週までの累計は、急性灰白髄炎0、結核3140(県内172)、コレラ0、細菌性赤痢14(県内2)、腸管出血性大腸菌感染症183(今週22、県内今週0、計8)、腸チフス6(県内1)、パラチフス3、E型肝炎65、A型肝炎91(今週7、県内1)、オウム病5、ジカウイルス感染症0、SFTS2(県内0)、チクングニア熱1、つつが虫病40、デング熱49(県内2)、日本紅斑熱4、急性弛緩性麻痺11(今週0、県内1)、日本脳炎0(県内0)、マラリア5(県内0)、レジオネラ症239、アメーバ赤痢133、ウイルス性肝炎54(県内4)、急性脳炎277(県内8)、クロイツフェルト・ヤコブ病25、劇症型溶レン菌感染症182(県内10)、後天性免疫不全症候群166(県内3)、侵襲性インフルエンザ感染症120(県内10)、侵襲性髄膜炎菌感染症12、侵襲性肺炎球菌感染症679(県内41)、水痘(入院)70(県内4)、先天性風しん症候群1、梅毒998(県内38)、風しん768(今週113、県内49)、麻しん285(今週26、県内0)例。1類感染症の報告はない。

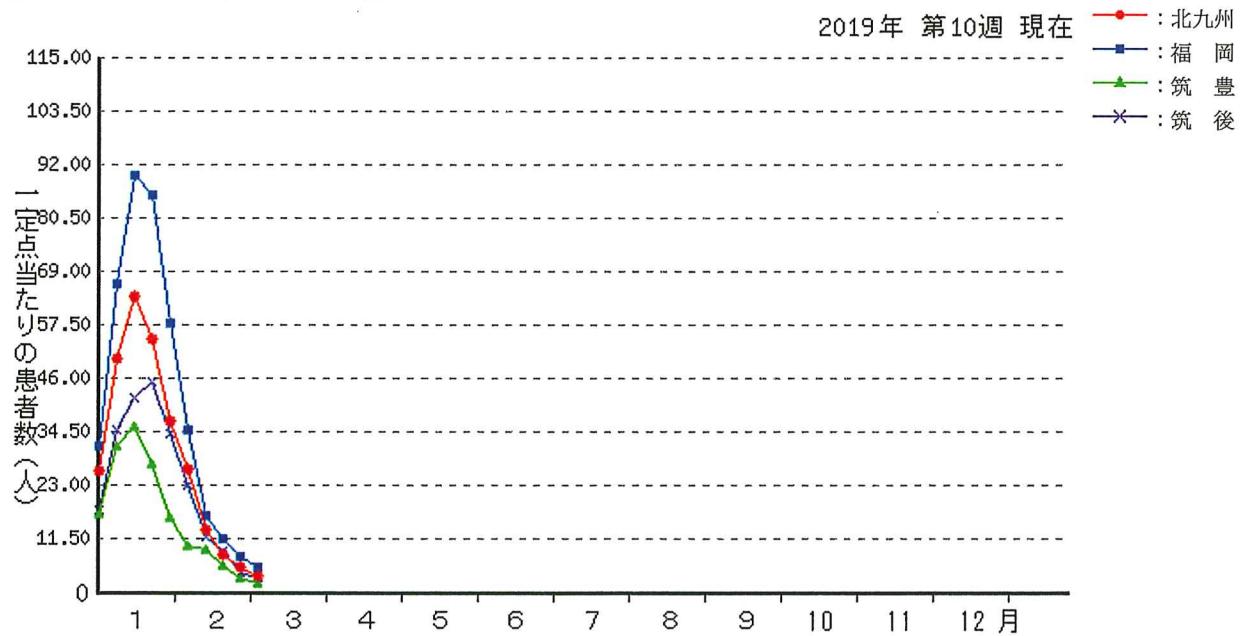
■インフルエンザ (福岡県全域)

2019年 第10週 現在



■インフルエンザ (地域ブロック別)

2019年 第10週 現在



定点医療機関数の年次推移

定点種別	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症 (皮膚科、 泌尿器科、 産婦人科)	合計	
					基幹	合計
定点数 福岡県	H12年	157	79	18	25	15 294
	H13年	183	105	24	32	15 359
	H14年～ H29年	198	120	26	37	15 396

1. 県が麻しん・風しん対策として行なう市町村に対する予防接種費用補助事業
2. 国が定期予防接種として行なう風しんの追加的対策

2019年3月20日
福岡県医師会理事
稻光 肇

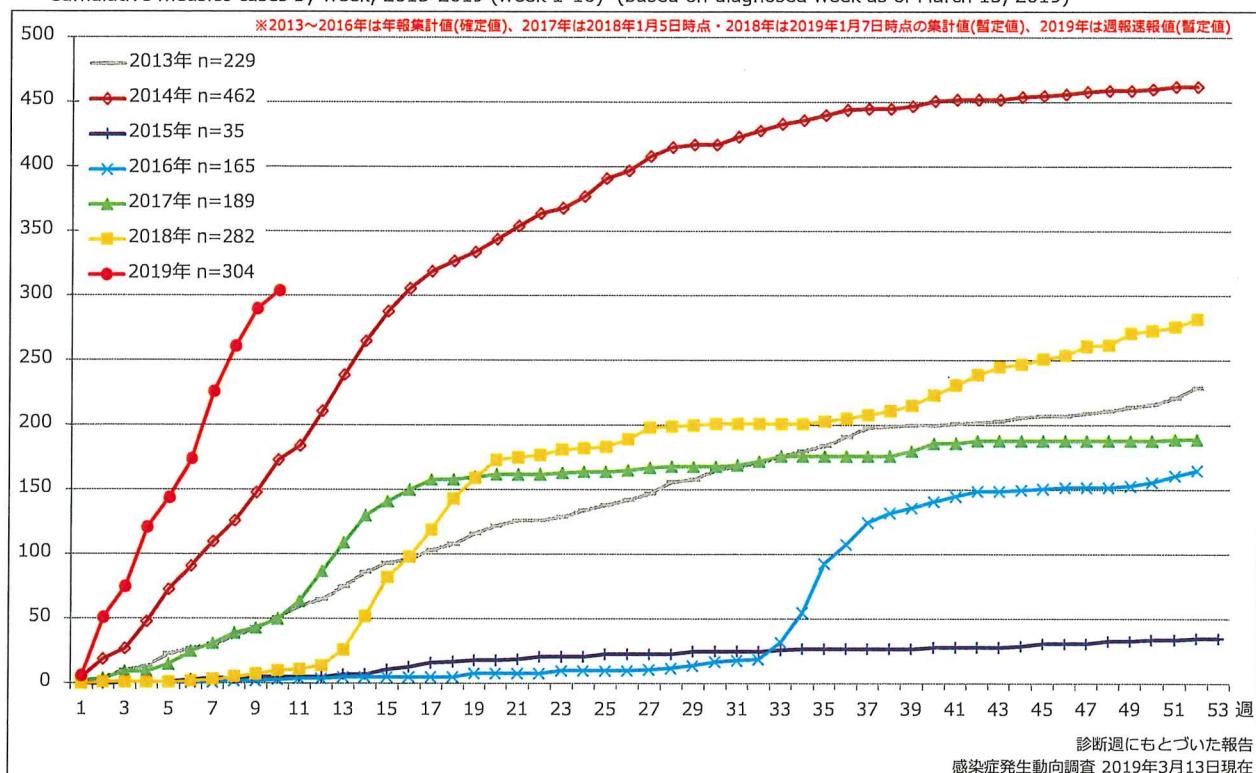
	福岡県風しん予防接種助成費補助金	福岡県麻しん予防接種助成費補助金	国が実施する成人男性対象の予防接種
目的	先天性風しん症候群の発生を予防	児童福祉施設等における乳幼児の麻しん感染拡大防止	風しんワクチンの定期接種を受ける機会がなかった成人男性の免疫を高める
方法	市町村長が行う風しん・麻しんの予防接種費用の助成に要する経費に県が補助金を交付	任意予防接種	A類定期予防接種として実施
使用するワクチン	原則、MR(乾燥弱毒生麻しん風しん混合)ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチンでも可	乾燥弱毒生麻しんワクチンでも可	
対象者	風しん抗体検査を受け、 抗体価が低いことが判明した 、次の者(風しんの予防接種を2回以上受けていること又は過去に風しんに罹患したことが明らかであるもの、予防接種法施行令第1条の3に規定する風しんの予防接種の対象者を除く。) なお、②については、妊娠希望者及び妊婦が、風しん抗体検査で風しんの感染予防に十分な免疫を保有していることが判明している場合は対象としない。 ①妊娠希望者(妊婦は除く。) ②妊娠希望者及び妊婦の ア 配偶者(パートナーを含む。) イ 同居者(生活空間を同一にする頻度が高い家族など。)	児童福祉施設等において乳幼児と接する職員 麻しんの予防接種(麻しん・おたふくかぜ・風しん混合ワクチンを使用したもの)を含む。)を2回受けたことが明らかである者及び麻しんに罹患したことが明らかである者を除く。 抗体検査は不要	1962年(昭和37年)4月2日から1979年(昭和54年)4月1日までの間に生まれた男性(現在39歳から56歳の男性)のうち、抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体がある(H-I法の場合は8倍を超える)ことが判明し、当該予防接種を行う必要ないと認められる者に対して、風しんの定期接種を行う。
補助率	県の補助率 1/2 (市町村負担分と同額、上限5,000円)		定期予防接種として 市町村に地方交付税措置

福岡県麻しん予防接種助成費補助金交付要綱

趣旨	児童福祉施設等における乳幼児の麻しん感染拡大防止 のため、市町村長が行う麻しんの予防接種費用の助成に要する経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付する
使用するワクチン	原則、MR(乾燥弱毒生麻しん風しん混合)ワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチンを使用して行う予防接種でも可
対象者	児童福祉施設等において乳幼児と接する職員 をいう。ただし、麻しんの予防接種(麻しん・おたふくかぜ・風しん混合ワクチンを使用したものを含む。)を2回受けたことが明らかである者及び麻しんに罹患したことが明らかである者を除く。「児童福祉施設等」とは、次の各号に掲げるものであって、満一歳に満たない乳児又は満一歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児が利用する施設で、本県以外の者が設置したものをいう。 幼稚園、認定こども園、保育所、地域型保育事業所、ファミリーホーム、認可外保育施設、乳児院、児童養護施設、福祉型障がい児入所施設、福祉型児童発達支援センター等、児童心理治療施設、その他知事が認める施設
補助対象経費	対象者が受けた麻しん予防接種(平成31年1月1日以降に接種されたものに限る。)の助成に要する経費(事務費を除く。)。上限額は1人あたり10,000円 ただし、対象者の接種については、1人につき1回限りとする。
補助率	県の補助率 1/2 (市町村負担分と同額、上限5,000円)

1. 麻しん累積報告数の推移 2013~2019年(第1~10週)

Cumulative measles cases by week, 2013-2019 (week 1-10) (based on diagnosed week as of March 13, 2019)



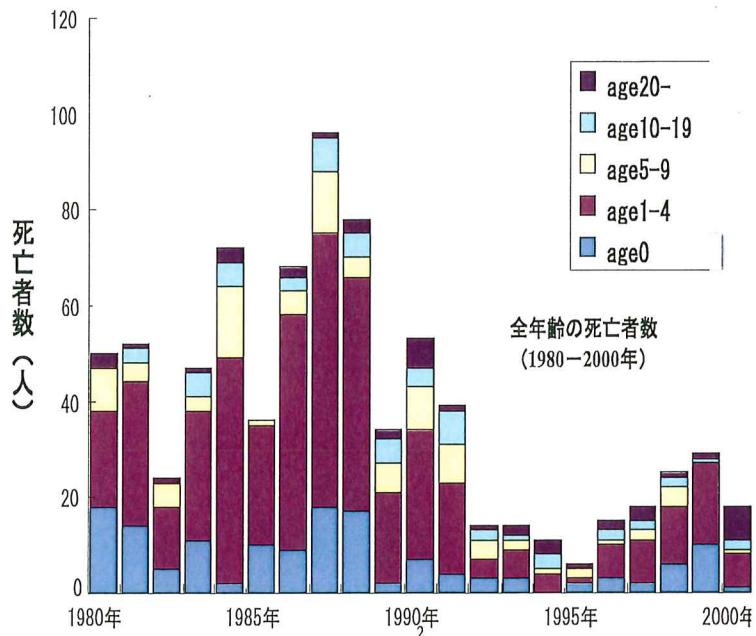
沖縄県における麻疹流行(1998-2007)



1998-2001年に沖縄県では麻疹が流行し
9人の小児が亡くなりました。

年齢	性別	接種歴	死亡時期	管内別
1 0才児（11ヶ月）	女	無	平成11年3月（肺炎・脳炎）	石川
2 0才児（11ヶ月）	男	無	平成11年4月（重症肺炎）	コザ
3 1才児（12ヶ月）	男	無	平成11年4月（間質性肺炎）	石川
4 1才児（14ヶ月）	男	無	平成10年10月（間質性肺炎）	コザ
5 2才児（32ヶ月）	女	無	平成10年11月（間質性肺炎）	コザ
6 3才児（44ヶ月）	男	無	（肺炎・脳炎）	石川
7 1才児（13ヶ月）	男	無	（重症肺炎）	石川
8 0才児（9ヶ月）	女	無	（重症肺炎）	中央
9 0才児（9ヶ月）	女	無	平成13年4月（間質性肺炎）	南部

図1b 過去20年間に麻疹が死因として報告された死者数



NHK NEWS WEB

岐阜 NEWS WEB

瑞穂市の保育士がはしかに感染

01月22日 23時22分

12月に津市で開かれた民間団体の研修会で発生した、はしかの集団感染で、岐阜県から参加して感染した男性2人と接触した瑞穂市の女性保育士がはしかに感染していましたことが新たに分かりました。

瑞穂市は、勤務先の保育園の保護者向けに説明会を開いて状況を説明するとともに、注意を呼びかけています。

はしかの感染が確認されたのは、岐阜県瑞穂市立の保育園「南保育・教育センター」に勤務する20代の女性の保育士です。

岐阜県によりますと、女性は、津市で開かれた民間団体の研修会で発生したはしかの集団感染で、瑞穂市から参加して感染した男性2人と今月5日に県内で接觸していました。17日から発熱などの症状が出ていたということです。

22日に県の研究所が行った遺伝子検査で、はしかの感染が確認されました。

岐阜県では22日までに、この女性のほか、研修会に参加した3人と、研修会の参加者と接觸した女性1人の、あわせて5人の感染が確認されています。

瑞穂市によりますと、この保育園には1歳から6歳の園児、約200人が通っています。女性は、発熱などの症状が出た17日に働いていたほか、21日も職場に顔を出していたということです。

これを受けて、瑞穂市は、22日夜、保育園の保護者向けに説明会を開いて状況を説明するとともに、感染がさらに広がる可能性があるとして注意を呼びかけました。

瑞穂市内の公民館で開かれた説明会には、保育園に通う園児の保護者30人あまりが参加しました。

教育委員会によりますと、説明会では女性保育士の感染が分かったいきさつや、はしかの特徴などを説明したということです。

参加した保護者は「はしかの感染は、ひと事だと思っていたので予想外だった。はしかへの対策方法などを聞くことができて、少し安心した」とか、「子どもは予防接種をしているので大丈夫だと思うが、私や夫に感染しないか不安だ」と話していました。

瑞穂市教育委員会の加納博明教育長は「園児は予防のためにワクチンを接種しているので大丈夫だと思うが、今後、体調に異変がないか注視していきたい」と話していました。

また、瑞穂市教育委員会は、今回の感染を受けて市内のすべての保育所に対して、はしか予防のワクチンを接種していない職員がいるかどうかを調べるとともに、いた場合、速やかにワクチンを接種するよう伝えたということです。

福岡県風しん予防接種助成費補助金交付要綱

趣旨	先天性風しん症候群の発生を予防するため、市町村長が行う風しんの予防接種費用の助成に要する経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付する
使用するワクチン	原則、MR(乾燥弱毒生麻しん風しん混合)ワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチンを使用して行う予防接種でも可
対象者	<p>風しん抗体検査を受け、抗体価が低いことが判明した、次の者(風しんの予防接種を2回以上受けていること又は過去に風しんに罹患したことが明らかであるもの、予防接種法施行令第1条の3に規定する風しんの予防接種の対象者を除く。)</p> <p>なお、②については、妊娠希望者及び妊婦が、風しん抗体検査で風しんの感染予防に十分な免疫を保有していること(HI法の場合は32倍以上)が判明している場合は対象としない。</p> <p>①妊娠希望者(妊婦は除く。) ②妊娠希望者及び妊婦の ア 配偶者(パートナーを含む。) イ 同居者(生活空間を同一にする頻度が高い家族など。)</p>
補助対象経費	対象者が受けた風しん予防接種(平成31年1月1日以降に接種されたものに限る。)の助成に要する経費(事務費を除く。)。上限額は1人あたり10,000円 ただし、対象者の接種については、1人につき1回限りとする。
補助率	県の補助率 1/2 (市町村負担分と同額、上限5,000円)

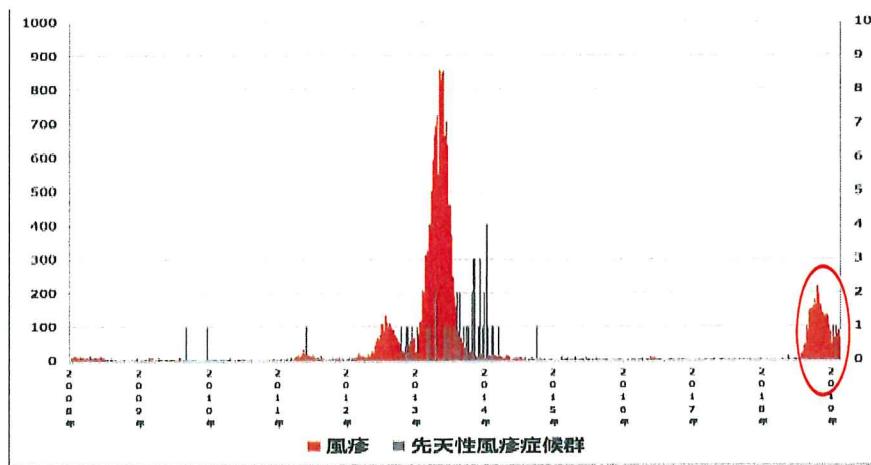
風しん・先天性風しん症候群の発生状況(感染症発生動向調査:2019年は第10週3/4-3/10まで)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017*	2018*	2019*
全国 風しん	378	2,386	14,344	319	163	126	93	2,917	860
全国 先天性風疹症候群	1	4	32	9	0	0	0	0	1
福岡県 風しん	86	39	304	4	9	3	1	167	53
福岡市 風しん	62	16	189	2	2	1	0	103	23

(※ 暫定値として公表されるものであり、後日修正される場合があります。)

1. 県が麻しん・風しん対策として行なう市町村に対する予防接種費用補助事業
2. 国が定期予防接種として行なう風しんの追加的対策

2008年以降の風しん流行状況、先天性風しん症候群の発生

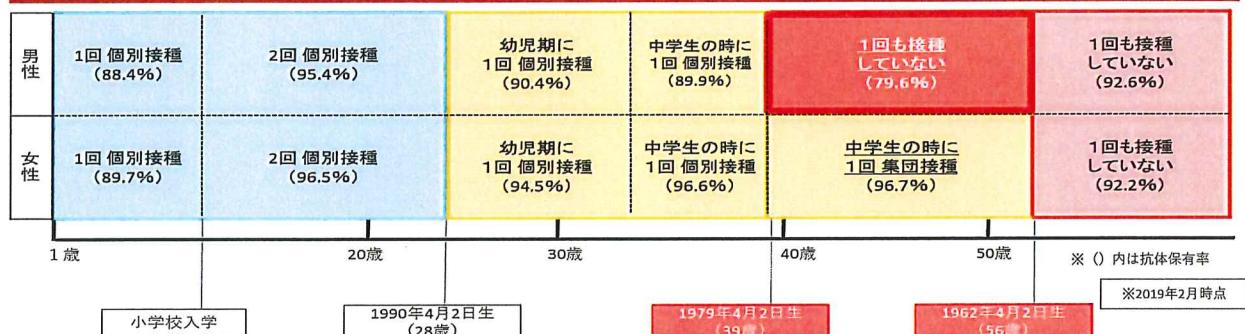


風しんに関する追加的対策

追加的対策のポイント

特に抗体保有率が低い現在39～56歳の男性に対し、

- ① 予防接種法に基づく定期接種の対象とし、3年間、全国で原則無料で定期接種を実施
- ② ワクチンの効率的な活用のため、まずは抗体検査を受けていただくこととし、補正予算等により、全国で原則無料で実施
- ③ 事業所健診の機会に抗体検査を受けられるようにすることや、夜間・休日の抗体検査・予防接種の実施に向け、体制を整備



【出典】国立感染症研究所「年齢/年齢群別の風疹抗体保有状況」2013-2017年をもとに算出（10歳以下のみ2017年のデータで計算）

54/65

表7-1(40) 2017年度 第1期 福岡県麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果
2018年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
接種対象者数①は2017年10月1日現在の第1期対象者の数、②、③、④は2017年度における接種者の数
MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	市町村 (特別区) 名	2017年度 第1期				
		95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満
1	合計	45,168	43,082	6	1	95.4
1	芦屋町	114	129	0	0	113.2
2	遠賀町	136	151	0	0	111.0
3	赤村	20	22	0	0	110.0
4	吉富町	53	58	0	0	109.4
5	行橋市	615	638	0	0	103.7
6	築上町	121	124	0	0	102.5
7	宇美町	312	317	1	0	101.9
8	川崎町	110	112	0	0	101.8
9	八女市	439	446	0	0	101.6
10	久山町	73	73	0	0	100.0
	筑前町	283	283	0	0	100.0
12	古賀市	519	517	0	0	99.6
13	宮若市	205	204	0	0	99.5
14	宗像市	876	871	0	0	99.4
15	水巻町	258	256	0	0	99.2
16	大野城市	1,047	1,037	0	0	99.0
17	広川町	168	166	0	0	98.8
18	朝倉市	392	387	0	0	98.7
19	北九州市	7,696	7,580	0	0	98.5
20	筑後市	486	478	0	0	98.4
21	筑紫野市	966	949	0	0	98.2
22	小竹町	44	43	0	0	97.7
23	小郡市	459	447	0	0	97.4
24	大川市	238	231	0	0	97.1
25	飯塚市	1,141	1,098	0	0	96.1
26	柳川市	461	441	0	0	95.7
27	みやこ町	108	103	0	0	95.4
28	中間市	275	262	0	0	95.3
29	岡垣町	215	205	0	0	95.3
30	久留米市	2,832	2,595	0	0	95.2
31	太宰府市	676	642	1	0	95.1
	田川市	406	386	0	0	95.1
33	福岡市	14,554	13,805	2	1	94.9
34	那珂川町	520	493	0	0	94.8
35	鞍手町	106	100	0	0	94.3
36	香春町	69	65	0	0	94.2

順位	市町村 (特別区) 名	第1期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人):①	MRワクチン 接種者数 (人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :(⑤=(②+ ③)/①)×100	風しんワクチン 接種率(%) :(⑥=(②+ ④)/①)×100
37	大木町	116	109	0	0	94.0	94.0
38	福津市	690	647	1	0	93.9	93.8
39	春日市	1,095	1,027	0	0	93.8	93.8
	篠栗町	323	303	0	0	93.8	93.8
41	須恵町	258	237	0	0	91.9	91.9
42	大牟田市	798	732	0	0	91.7	91.7
43	東峰村	11	10	0	0	90.9	90.9
44	粕屋町	683	618	1	0	90.6	90.5
45	志免町	470	420	0	0	89.4	89.4
46	みやま市	231	204	0	0	88.3	88.3
47	直方市	461	405	0	0	87.9	87.9
48	糸田町	73	64	0	0	87.7	87.7
49	豊前市	176	154	0	0	87.5	87.5
	新宮町	456	396	0	0	86.8	86.8
50	嘉麻市	257	223	0	0	86.8	86.8
52	うきは市	225	195	0	0	86.7	86.7
53	糸島市	822	703	0	0	85.5	85.5
54	苅田町	378	322	0	0	85.2	85.2
55	大刀洗町	173	141	0	0	81.5	81.5
56	上毛町	63	50	0	0	79.4	79.4
57	大任町	37	28	0	0	75.7	75.7
58	桂川町	119	90	0	0	75.6	75.6
59	福智町	204	151	0	0	74.0	74.0
60	添田町	56	41	0	0	73.2	73.2

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

表7-2(40) 2017年度 第2期 濃岡県麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果
2018年3月31日現在、最終評価

順位	市町村 (特別区) 名	第2期					
		95%以上		90~95%未満		80~90%未満	
		MRワクチン:麻しん風しん混合ワクチン接種率(%)	対象者数(人):①	麻しんワクチン接種率(%) :(②+③)/①×100	風しんワクチン接種率(%) :(④+⑤)/①×100	麻しんワクチン接種率(%) :(②+④)/①×100	風しんワクチン接種率(%) :(③+⑤)/①×100
	合計	46,415	43,168	93.0	93.0	93.0	93.0
1	吉富町	65	74	0	0	113.8	113.8
2	芦屋町	107	108	0	0	100.9	100.9
3	香春町	93	92	0	0	98.9	98.9
4	氷巻町	240	237	0	0	98.8	98.8
5	添田町	62	61	0	0	98.4	98.4
6	遠賀町	174	171	0	0	98.3	98.3
	朝倉市	472	464	0	0	98.3	98.3
8	篠上町	148	144	0	0	97.3	97.3
9	福津市	672	653	0	0	97.2	97.2
	八女市	492	478	0	0	97.2	97.2
11	うきは市	243	236	0	0	97.1	97.1
12	大野城市	1,056	1,022	0	0	96.8	96.8
13	小郡市	514	497	0	0	96.7	96.7
14	筑前町	272	262	0	0	96.3	96.3
15	筑後市	472	453	0	0	96.0	96.0
16	大刀洗町	155	148	0	0	95.5	95.5
	上毛町	67	64	0	0	95.5	95.5
18	宗像市	959	914	0	0	95.3	95.3
19	みやま市	270	257	0	0	95.2	95.2
20	富若市	218	207	0	0	95.0	95.0
	春日市	1,179	1,119	0	0	94.9	94.9
21	古賀市	587	557	0	0	94.9	94.9
	岡垣町	274	260	0	0	94.9	94.9
24	中間市	323	306	0	0	94.7	94.7
25	鞍手町	122	115	0	0	94.3	94.3
	広川町	176	166	0	0	94.3	94.3
27	大川市	242	228	0	0	94.2	94.2
28	みやこ町	150	141	0	0	94.0	94.0
29	太宰府市	743	697	0	0	93.8	93.8
	東峰村	16	15	0	0	93.8	93.8
31	篠栗町	315	295	0	0	93.7	93.7
32	北九州市	8,238	7,710	0	0	93.6	93.6
	久留米市	2,900	2,715	0	0	93.6	93.6
34	柏原町	619	578	1	0	93.5	93.4
	桂川町	92	86	0	0	93.5	93.5
36	大木町	152	142	0	0	93.4	93.4
37	福岡市	13,621	12,705	2	0	93.3	93.3

第2期

順位	市町村 (特別区) 名	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人):①	MRワクチン 接種者数 (人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):④	麻しんワクチン 接種率(%): ⑤=(②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%): ⑥=(④/ ①)×100
38	大牟田市	839	780	0	0	93.0	93.0
	喜多方市	299	278	0	0	93.0	93.0
	行橋市	627	583	0	0	93.0	93.0
41	福智町	200	183	0	0	91.5	91.5
42	新宮町	485	443	0	0	91.3	91.3
43	須恵町	315	287	0	0	91.1	91.1
44	直方市	544	495	0	0	91.0	91.0
45	豊前市	229	208	0	0	90.8	90.8
46	苅田町	383	345	0	0	90.1	90.1
47	久山町	90	81	0	0	90.0	90.0
48	田川市	418	375	0	0	89.7	89.7
49	糸島市	864	770	0	0	89.1	89.1
50	筑紫野市	1,073	952	0	0	88.7	88.7
	糸田町	71	63	0	0	88.7	88.7
52	小竹町	44	39	0	0	88.6	88.6
53	柳川市	556	490	0	0	88.1	88.1
54	宇美町	371	326	0	0	87.9	87.9
55	那珂川町	557	488	0	0	87.6	87.6
56	赤村	24	21	0	0	87.5	87.5
57	飯塚市	1,216	1,047	0	0	86.1	86.1
58	川端町	135	112	0	0	83.0	83.0
59	大任町	46	36	0	0	78.3	78.3
60	志免町	529	389	0	0	73.5	73.5

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター